

南島原市の取り組み

農業分野

IoT関連企業の誘致



～農業ITのメッカを目指して～「南島原農業IT研究所オープン」

6月30日、市が誘致したIT企業の株式会社セラク（以下、セラク）が、赤い屋根のふるさと交流館（加津佐町）に、「南島原農業IT研究所」をオープンしました。

開所式には、セラクの宮崎専務取締役や山口小学校閉校跡地利活用検討委員会の皆さんなど関係者が出席。宮崎専務取締役は「農業が盛んな南島原市で実証実験を行い、先進的な農業をここから発信したい。南島原市を農業ITのメッカにしたい」と意気込みを話しました。

「南島原農業IT研究所」では今後、セラクの独自サービスである「みどりクラウド」の運営・改良などに加え、IoTサービスの創出などの研究や実証実験などを実施していく予定です。



自動的に圃場の環境を計測、記録し、そのデータを離れたところからいつでも確認することができる圃場モニタリングシステム



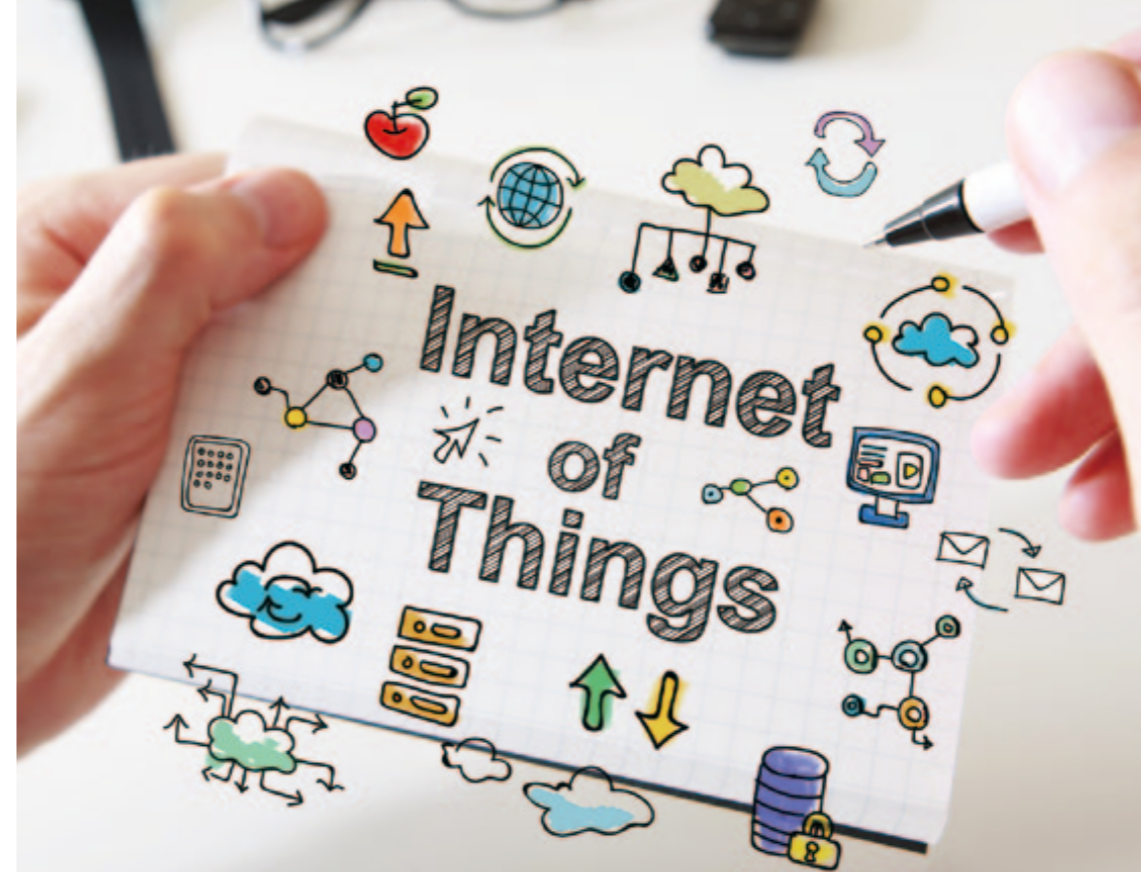
美しい校舎と景色に東京の人は癒されるといいます



開所式では地域おこし協力隊を含む山口小学校閉校跡地利活用検討委員会の皆さんの手づくりのピザもふるまわれました



「7年前に市から話をいただいた当初は職員のリフレッシュのためのリゾートオフィスとして考えていた」と話す宮崎専務



特集

来るべき

IoT時代に向けて



自動車、家電などあらゆるものがインターネットにつながるIoTの時代が到来しています。

IT (Information Technology) が、特にコンピュータなどの機械や器具、および内部で作動するソフトを用いて情報を扱う技術のことをいうのに対して、IoT (Internet of Things) は、インターネットにモノを接続することを意味しています。実はIoTは既に身近な存在で、例えば、高速自動車道のETCやおサイフ携帯なども該当します。

IoTは今後、産業、教育、医療、介護、働き方などさまざまな分野で活用することにより、地域が抱える課題の解決や地域活性化の可能性を秘めており、全国的に取り組みが進みつつあります。総務省によると、地域IoTによる経済波及効果は4.9兆円、雇用創出効果は45万人と推計されています。



『祭りと花火、南島原夏物語』(5)



『しよくシルin南島原』(12)



『九州オルレ南島原コース』(15)

CONTENTS

特集：来るべきIoT時代に向けて	2～4
イベント情報	5
まちの話	6～9
南島原にゆーす	10～16
南島原から世界遺産を	17
くらしの情報	18～21
島原半島世界ジオパーク	22
国際交流員コラム	23
南島原市図書館だより	24
教えて！国民年金	25
消費生活センター	25
保健事業のご案内	26～27
市民カレンダー	28